

本翻訳はロシアNIS貿易会監修による仮訳である。

カザフスタン共和国大統領ウェブサイト(<https://www.akorda.kz/ru/vystuplenie-glavy-gosudarstva-kktokaeva-na-ceremonii-inauguracii-2610566>)掲載の露文資料に基づく。

カシム=ジョマルト・トカエフ大統領の就任演説

2022年11月26日

尊敬する国民の皆さん！

紳士淑女の皆さん！

親愛なる来賓の皆さん！

本年は、我が国の国民にとって特に重要な年であった。カザフスタンは、その発展の新しい時代に入ろうとしている。我々が始めた大規模な改革は、根本的な変化のための基礎を築いた。憲法改革が実施された。国家運営のすべての分野が全面的に刷新された。こうした変化のおかげで、明るい未来に対する国民の信頼は高まっている。私は、地方を訪問し、市民と面会する中で、このことを確信した。

国民投票が実施され、新しい取り組みに対する全面的な支持が示された。

カザフスタン国民のポジティブな変化への意欲が、我々の活動に強力な弾みを与えた。

我々は、始まった改革を必ず最後までやり遂げる。新しい憲法規範のもとでは、大統領は1期7年で選出される。これによって、新しい世代の政治家に権力への道が開かれる。

これは正しい判断であると確信している。憲法の要求に従い、三権すべての根本的な刷新が行われることになる。

大統領選挙は、新しい政治シーズンの幕開けとなった。選挙戦は約3カ月間続いた。この間、様々な意見が表明され、我が国の将来について有意義な議論が交わされた。市民は自分たちの未来に関心があることを示した。市民社会が本格的な機関となったことが明らかになった。政治舞台には新しい顔が現れた。11月20日、国民は選択を行ったのだ。

オブザーバー、専門家、ジャーナリストの評価によると、選挙は公正かつオープンに行われた。特に、国民は高い積極性を示した。家族全員で投票に来た市民もいた。今回の選挙戦は、国益が我々すべてを団結させることを示した。

いつの時代も、我々の先祖にとって、国民の団結が何よりも重要だった。我々は、自分たちが近代的な文明国であり、父や祖父たちの道に忠実であり続けていることを世界に示した。こうして我々は、我が国の団結力を改めて証明した。今回の選挙では、国民の皆さんが私を圧倒的に支持してくれた。国民の信頼は、他の何ものとも比較できない最高の価値である。

私は、今回の選挙結果を、私の政治綱領に対する支持であり、今後の計画実行に対する信託だと捉えている。国民の支持を得て国を率いることは、大変な名誉であり、重大な責任でもある。私は、これを、今後7年間で現在および将来の世代に対する私の義務を果たすためのまたとない機会だと考えている。

カザフ人には、「アマナト」、つまり盟約という崇高な概念がある。国民の信頼は、私に託されたアマナトである。そして、それを果たすことは、私の神聖な義務である。私は、国民の信頼に報い、

カザフスタンを繁栄した豊かな国家にするために全力を尽くす。

選挙に参加したすべての市民に感謝する。特に、選挙に積極的に関わったオブザーバー、ジャーナリストの皆さんに感謝する。

大統領候補者の皆さんに敬意を表したい。政党や市民団体は重大な局面で団結する意思を示した。私を統一候補として推薦してくれた国民連合のメンバーに感謝する。

私は、私に投票した市民だけでなく、カザフスタンの全国民に対する責任を負う。「不正に得た富がなぜ必要なのか、正義を築かないならなぜ権力が必要なのか」という諺がある。これは、私の人生の原則であり、私はこれを厳格に守っている。

今日、私は空色の国旗に口付けし、賢明な国民の前に頭を垂れ、我々の自由のために命を捧げた先人たちに敬意を表した。私は、国民の夢と願いに常に忠実であり、決めた道から決して逸れず、カザフスタンの国益を守ることを誓った。憲法に手を置き、その一字一句を厳格に遵守することを誓った。国民に捧げたこの誓いは、私の仕事におけるゆるぎない指針となるだろう。

尊敬する国民の皆さん！

今回の大統領選挙は、真に愛国的な行動となった。選挙は、祖国の運命に対する市民の真摯な関心を確認するものだった。正義の思想の勝利、民意の凱旋、そして我が国の全面的な刷新の始まりを具現化した。

今回の選挙は、カザフスタンにおける選挙プロセスの開放性と透明性の新たな基準となった。この選挙は、我が国の政治文化の高さと社会の成熟度を証明した。

国民は、投票所で今後7年間の国家の発展計画に肯定的な評価を下した。私は、示された信頼に心から感謝し、大統領として信念と真実をもって国に奉仕する覚悟である。これはこの上ない名誉であり、重大な責任でもある。

私にとって、国益が最も優先されるべきものである。これからの7年間、国民の大きな信頼に報いるため全力を尽くす。

現在、我々の共通目標は、法と秩序が守られ、市民の権利が十分に尊重される「公正なカザフスタン」を築くことだ。社会を変革し、カザフスタンを真に民主的な制度を持つ先進国にするため、我々は多くの仕事をしなければならない。そうすることによってのみ、我々は質的に新しい国家を形成し、我々の神聖な独立を強化することができる。

私たちは現在、困難な道の入口にいる。この先やるべきことが多くある。一人ひとりの市民が、国の将来に対する責任を自覚しなければならない。我々の国家政策の基調となるのは、教育から工業化まで、生活のすべての分野の近代化である。

我が国の長期的な経済成長の基盤となるのは、新技術、高い労働生産性、そして市民の創造的なイニシアチブである。積極的な市民の企業家精神を妨げる人為的な障壁や制限をすべて取り除くことが優先課題である。

企業家は、ビジネスに対する無意味な検査から完全に解放され、税務調査のみに対応すべきである。国家と企業は自然なパートナーである。中小企業の発展を違法に阻害する者は、法に基づき厳しく処罰される。我々は、真の工業化、インフラの建設と近代化に取り組まなければならない。

広大な我が国のすべての地域が、発展のための新たなきっかけを得ることが重要である。公正な

市場経済の構築、私有財産の保護、競争の発展、汚職の根絶は、真の法の支配なしには不可能である。

したがって、法の下でのすべての人の平等は、我が国の長期的な進歩のための最も重要な条件である。

すべての問題、特に複雑で論争の余地がある問題は、建設的な対話によって、何よりもまず議会での議論を通じて解決するべきである。間もなく行われる上院と下院の選挙は、そのような機会を提供するものだ。我々は、「意見は違っても、国は1つ」という原則を固く守っていく。

我々は、「多様性の中の統一」という言葉で表現される我が国民の歴史的資産を、あらゆる方法で強化しなければならない。

社会に不和をもたらし、国家の統一を損ない、ひいては国家に敵対する挑発行為は、厳しく罰せられる。

我々には、市民のニーズと時代の要請に応える効果的な国家を建設する義務がある。これは、歴史的規模の課題である。

国家公務には、実体部門から能力主義と開かれた競争の原則に従って選ばれた新しい人材が採用される。「大統領人材プール」のメンバーを積極的に参加させる。

我々の最大の富は、人である。だからこそ、市民の幸福のためのあらゆる条件を整えることが極めて重要である。

国の発展において我が国は、主に自国の資源に依存すると同時に、外国からの直接投資の誘致を含め、さまざまな分野での国際協力を積極的に進めていく。

カザフスタンは、引き続き、国益の保護のため、バランスのとれた建設的な外交政策を実行する。

優先的に焦点が当てられるのは、ロシア、中国、中央アジアの兄弟諸国、種々の連合のパートナーとの互惠協力と戦略的パートナーシップの問題である。

米国、欧州連合、アジア・中東・ザカフカス（南コーカサス）諸国をはじめ、あらゆる利害関係国との多面的な協力関係の構築に全力を尽くしていく。

カザフスタンは、今後も現代の国際法と国連憲章に忠実であり続ける。

親愛なる国民の皆さん！

我々は、公正な国家、公正な経済、公正な社会を築く。

これらの原則は、私の選挙前綱領に具体的に示されていた。

私は、その一言一句、一文一文に大きな意味を込めている。私の綱領は、長い間の検討と模索の結果である。私の心の中から生まれたと言っても過言ではない。私のイニシアチブを国民が支持し、大きな期待を寄せていることを知っている。

私は、選挙前綱領のすべての項目を完全に実行するために全力を尽くす。

これに関して、私は、綱領の実現のための具体的な施策を承認する特別大統領令に署名する。

私は、綱領の厳密な実施を自ら監督する。今は選挙の勝利を祝うのではなく、懸命に働くべき時である。だから、我々はすぐに仕事に取り掛からなければならない。決して気を抜いてはならない。

それに関連して、第一に取り組むべき課題をいくつか挙げたい。

私は、選挙演説で、農村の発展に特に注意を向けた。現在、人口の約40%が農村部に住んでいる。

「Ауыл – ел бесігі (村は金のゆりかご)」と言う諺がある。だから、農村住民の生活環境の改善は、我々にとって名誉の問題である。そのために、私は本日、5年間の農村発展コンセプトの策定を政府に指示する大統領令に署名する。

これは、新しい大統領任期で最初の大統領令となる。政府は農村の発展を目的としたすべてのプロジェクトをまとめ、体系化しなければならない。その後、我々は必要な作業に取り掛かることになる。

もう1つ重要な分野がある。我々は、正義を回復し、違法に国外に持ち出された資産をすべて取り戻さなければならない。そのために政府は、違法に持ち出された資本の返還に必要な手続を規定する法案を策定する。

この法案は、不当利得や資産の違法持ち出しを助長してきた原因や条件を排除することも目的としている。

返還された資金は、すべて市民の幸福のために使われなければならない。ハイテク工場の開設、学校と病院の建設、社会プロジェクトの実施に投資すべきである。私は本日、これに関する大統領令に署名する。

富裕な企業家たちが、近い将来、市民の幸福のための社会活動を推進する呼びかけに応じることを期待する。

国づくりにおいて、我々は「強い大統領—影響力ある議会—説明責任を果たす政府」という公式を明確に守っている。

大統領選挙によって、すべての主要な権力機構を徹底的にリセットするプロセスが始まった。

選挙は、大きな選挙周期の第一段階となった。我々は、政治の近代化の計画的なプロセスを続けていく。

本日、私は「カザフスタン共和国議会上院議員の選挙の実施に関する」大統領令にも署名する。

したがって、次の上院選挙は、憲法改革の具体的実現の継続となる。

選挙の結果、競争と公開の原則に基づいて、上院議員の一部が刷新される。

また本日、私は、憲法改革の次のステップとして、「カザフスタン共和国最高監査院のいくつかの問題に関する」大統領令に署名する。次の段階は、その完全な変革である。

その他の重要かつ喫緊の課題の解決については、後日発表する。繰り返すが、我々の前には多くの仕事がある。我が国の幸福のための困難な仕事になる。

私は、国家機構全体がこの課題を立派に果たすことを求める。

献身的に働き、国のために尽くす人たちだけが我々の仲間に入ることができる。

そうした人々は、我々の支援と社会の尊敬を得ることができる。

諺を少し言い換えれば、「富と出世は手の中で溶ける氷である。しかし国のためになる行いは、世代を超えて受け継がれる遺産となる」。

これはすべての市民が意識すべきことである。

何よりも優先されるのは国益である。

私は、すべての公務員に対し、自己の義務を良心的に遂行することを求める。

つまり、プロフェッショナリズム、誠実さ、謙虚さが我々の主原則にならねばならない。

社会に新しい価値観を根付かせ、より良い資質を育むことができなければ、すべての改革は無意味になる。

空色の旗、パスポート、国語は、国民の団結を象徴している。

我々の祖先は、団結し、ユーラシア大陸にジョチ・ウルスやカザフ・ハン国のような強い国家を形成し、それによって我々の歴史に輝かしいページを残した。

我が国民は、最も困難な時代にも、自由の擁護に努めてきた。

我々のハンたち、勇士たち、優れた人々の英雄的行為は、それをはっきりと証明している。

自由を求める粘り強い闘いの中で、カザフスタンは独立を果たした。

我々の主権国家の創設と強化に多大な貢献をした歴史上の人物に、我々は正当な評価を下さなければならない。

時間と歴史だけが、成功と失敗を評価することができる。時間は最も公正な審判であり、歴史は真実の尺度である。したがって我々は政治的場当たり主義を避けなければならない。

公正な国家でありたいなら、我々は過去を客観的に評価し、そこから学ばなければならない。「良いものから学び、悪いものには近づかない」。未来志向の国家は、このルールを守るべきだ。

我々は、愛国心、勤勉、探究心、革新性、創造性、連帯、慈悲といった崇高な資質を根付かせなければならない。私はいつもそう言っている。

「公正なカザフスタン」では、働く人々が特別に尊敬されなければならない。教師、医師、警察官、救助隊員、労働者、農民の地位をさらに高めることが非常に重要である。

彼らは、この国で最も尊敬される市民となるべきだ。これらの職業の人々が正当に尊敬され、敬意を払われるようになって初めて、我々の社会は本当に新しくなったと言えるのである。

現代には真の英雄が足りないと言っている人が多い。しかし、真の英雄は、明るい照明が当たり、拍手が鳴り止まない場所にいるのではない。英雄は我々の中にいる。

英雄たちは毎日、工場の機械のそばに立ち、公共交通機関を運転し、飛行機の操縦席に座り、救助隊の制服を着て、患者からの緊急通報に駆けつけ、軍用装備を習得している。

真の英雄たちは、我々の食卓に十分な食べ物が並ぶよう、幼い子どもや年老いた両親を養えるよう、村々で朝早くに起きている。

我々の英雄は、事業を興し、雇用を創出し、従業員とその家族のために新しい機会を創り出す企業家たちである。

我々の英雄は、社会に愛とエネルギー、経験や知識、財産や金銭を無償で提供するボランティアや慈善家たちである。

彼らは皆、国の誇りと希望である。働く人々にこそ、我が国は支えられている。

先進国の先頭に立つためには、学ぶだけでなく、人に教えることができる国になる必要がある。他人が作ったものを利用するだけでなく、独自の発見や成果を世界に発信しなければならない。そして、我が国民にはそのための潜在力も、才能も、技術もある。私は、ダイナミックかつ進歩的な考えを持つ我が国の若者たちを誇りに思う。

だから、「私は若者を信じる」という詩人マグジャン・ジュマバエフの言葉を私は何度でも繰り返したい。

実際に、我々は皆、若者を応援しなければならない！若い世代こそが、我々の国に明るい未来へ

の道を開くのだ。しかし、成功するためには、若者たちはたゆまぬ努力をし、新しい知識や経験を目指すことが必要である。

そうして初めて、彼らは真のプロフェッショナルとなり、必要とされ、尊敬され、社会に貢献することができる。

これらの原則に従う人々は、敗北の危機にさらされることはない。現代は時間を早め、進行中の出来事を圧縮している。我々の言動の真価は、歴史の天秤によってのみ評価される。

すべての人々にとって、報酬は曇りない良心と国民からの称賛である。私はこの公式を、まず自分自身に適用している。

我々は、豊かな精神的遺産と進歩のための膨大な創造力を持つ、強い自立した国である。

東洋の偉大な教師であるアル・ファラビは、公正であり、真実を愛し、名誉を大切にし、欲望を抑え、常に知識を求めるよう人々に呼びかけた。

我々には、国家の発展において大きな飛躍を成し遂げた世代として歴史に名を残す良いチャンスがあると私は確信している。

すべては我々自身、我々の努力にかかっている。

我々の義務は、未来の世代に強い国家を残すことである。

我々は、まだ多くの試練や困難に直面するだろう。

しかし、意見の一致を維持することができれば、我々はあらゆる障害を立派に克服するだろう。

今日、私はすべての国民に、我々の計画が成功裏に実現することだけを願う。

カザフ人は、自らの伝統に忠実な民族である。

聖地メッカで、カーバ神殿の下で先祖を偲んでコーランを唱えながら、私は全能の神にただ1つ、我が国の幸福を願った。

国の幸福、国民の団結、領土の一体性を守ることによってのみ、我々は我々の国家を揺るぎないものにすることができる。

カザフ人の息子として、またカザフスタン大統領としての私の神聖な義務は、これらの侵すべからざる価値を守ることである。

端的に言えば、どのような役職も一時的なものだが、国民は永遠である。

これからの7年間、国民の支援のもと、大統領の使命を、誇りを持って果たすことができると信じている。

我々は、1つの祖国、1つの国家、1つの国民である！

だから、団結しようではないか！

我が国に繁栄あれ！

我々の祖国—カザフスタン共和国、万歳！

国民万歳！

国民に幸福あれ！

独立カザフスタン万歳！